

株式会社 八尾金網製作所の CSR 活動

制定 2012 年 10 月 19 日

株式会社八尾金網製作所 企業概要

会社名：株式会社 八尾金網製作所

代表者：代表取締役 山上昌宏

所在地：〒581-0068 大阪府八尾市跡部北の町 3-3-15

事業内容：工業用フィルター金網及びスクリーン印刷用金網、金網・線材加工品
工業用篩金網

資本金：1,000 万円

従業員数：14 人

1. CSR 推進体制

1.1 活動方針・ガイドライン

【八尾金網のミッション】

- 1.世の中に必要とされる製品を製造し、お客様にご満足の頂けるサービスを提供します。
- 1.技術の伝承と研鑽を使命とし、仕事を通じて人間的に成長します。
- 1.明るい未来を築くために地域や社会に貢献し、企業の社会的責任を果たします。

【八尾金網の行動指針】

- (1) 社内の連携・ステークホルダーとの連携を大切にする。
- (2) 人材の育成を重視する。
- (3) PDCA を実践して、技術力・開発力・提案力を研鑽する。

【八尾金網の CSR ガイドライン】

- (1) 社内推進体制・制度の明確化と見直しを行い、着実な推進を目指す。
- (2) 企業倫理と法令順守の企業責任を果たす。
- (3) 環境・安全・環境保全の向上を目指し、温暖化対策・省エネ・グリーン購買を推進する。
- (4) 製品の安全と品質に最優先で取り組み信頼される企業を実現する。
- (5) 不測の事態が発生した時にも迅速な行動と情報管理ができる体制を構築する。
- (6) 企業の透明性を高め、ステークホルダーと積極的に対話する。
- (7) 人権を尊重し人材育成に努める。
- (8) 購買先・販売先・物流会社の理解と協力を頂きサプライチェーンの強化に取り組む。
- (9) 企業市民として地域の方々と共に社会貢献活動を推進する。

1.2 社内体制

【推進責任者・推進体制】

推進責任者は社長がこれを兼る、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。

1.3 活動計画

【管 理】

社内の ISO マネージメントレビューの会議内において定期的に議題に掲げ検討実施する。

1.4 サプライヤーへの要請

【サプライヤーに対する要請】

CSR ガイドラインを公開し営業が窓口になり、当社 CSR への理解と協力を頂く。

2. 倫理とコンプライアンス

2.1 活動方針・ガイドライン

(株)八尾金網製作所では企業倫理の確立と法令順守行動規範として下記項目の規範を定める。

(1)地域社会への貢献

メイドインジャパン大阪を通じて雇用の確保と地域社会に貢献する。

(2)ステークホルダーとの対話

お客様、仕入れ先、地域社会、従業員との対話により情報の収集と交換に努める。

(3)法令順守と人権尊重

(株)八尾金網製作所は良き企業市民として行動し法令を順守し人権を尊重する。

(4)信頼の(株)八尾金網の確立

公明正大で信頼頂ける企業活動に徹する。

(5)明るく楽しい会社づくり

自由な発想を尊重し明るく意欲を發揮できる企業風土を作る。

(6)反社会勢力との関係遮断

2.2 社内体制

【推進責任者・推進体制】

推進責任者は社長がこれを兼ねる、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。

2.3 公正取引のための活動方針・ガイドライン

【独占禁止法の順守】

(株)八尾金網製作所においては独占禁止法の順守を社内 ISO マネージメントレビュー会議において定期的に徹底すること。また新入社員にも教育を通じて注意喚起が有効と考えること。

2.4 公益通報者保護法に関する社内規定・体制

【相談・報告体制】

公益通報者が不利益を蒙らないように、また情報の拡散により解決が困難にならないように社長に直接メールにて相談できるルートを確保する。

2.5 管理体制

社内の ISO マネージメントレビューの会議内において定期的に議題に掲げ実施する。

業界慣行や商習慣が社会良識から見て違和感がないのか、法令との関係を検証する機械とする。

2.6 反社会的勢力遮断に対する方針・ガイドライン

善良な市民良識に則った企業行動に努めるとともに、秩序や安全に反する反社会勢力とは関係を持たず、毅然とした対応をとります。

2.7 コンゴ民主共和国、その周辺の紛争地区での採取鉱物の取り扱い

当社向け製品の性能性もしくは生産に必要なためとくに定めない。

2.8 サプライヤーへの要請

当社としては確認書・契約書を受領することは困難と考え、文書にて当社の順守活動を行っていることを報告して順守要請の理解をいただく。

3. 安全・防災・環境保全

3.1 労働安全衛生及び防災に対する活動方針・ガイドライン

(株)八尾金網製作所は「事故を起こさない会社=尊敬される会社の第一条件」と考え、以下の項目を実行することにより、労働者の安全と健康の確保と快適な職場環境の形成に取り組みます。

1. 労働安全衛生関係法令の順守
2. 職場の危険有害要因の明確化
3. リスクアセスメントの実施
4. 労働安全の目標と計画の作成と実施
5. PDCS を基本とした目標と計画の改善

3.2 社内体制

【推進責任者・推進体制】

(1).推進責任者は社長がこれを兼ねる、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。

(2).上記推進者と責任者は、定例社内会議等を通じて「労働安全衛生及び防災に対する」教育を実施する。

3.3 環境保全に関する活動方針及びガイドライン

【環境宣言】

【基本理念】

株式会社八尾金網製作所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の削減に努力します。

【方針】

株式会社八尾金網製作所は金網及び金網関連製品等の製造・販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

- (1). 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- (2). 当社の活動、製品及びサービスに係る環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
- (3). 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 1. 電力使用量の削減
 2. 事務用紙使用量の削減
 3. 工場周辺の清掃等啓発活動
- (4). 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
- (5). 京のアジェンダ21フォーラムのパートナーシップに基づく地球の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定すると共に定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。

【推進責任者・推進体制】

- (1). 推進責任者は社長がこれを兼ねる、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。
- (2). 上記推進者と責任者は、定例社内会議等を通じて「労働安全衛生及び防災に対する」教育を実施する。

【実行、点検、評価】

環境魔に面とマニュアルに準じる

4. リスクマネジメント

【活動方針】

リスクを「事業目的を阻害する発生不確実な事象」と考え

- (1) 災害・事故リスク
- (2) 政治・経済・社会リスク
- (3) 経営オペレーションリスク
- (4) 基幹業務プロセスリスクの中でも、発生可能性と影響度を評価して優先順位付け対応する。
 - (i) 災害・事故などの不測の事態への対応
 - (ii) 原材料・生産・などのお客様へのサプライチェーンへの対応
 - (iii) 情報漏洩対策の上記3項目を優先的に対応する。

【リスク低減活動】

社内各機能においてリスクの洗い出しを行い、経営の許せる範囲内の活動の優先順位をつけて実行させる。

サプライヤーに対して確認は取れないものの、理解と協力を頂けるよう努力を続ける。

5. ステークホルダーとの対話

企業が持続的に発展するためには、ステークホルダー（お客様、仕入れ先、株主・投資家、従業員）との積極的な対話の下で企業活動することが重要と考える。その各ステークホルダーに対する基本的な考えを以下に記す。

【お客様】

- (1) 顧客の意見を経営、活動方針の策定に生かす
顧客の満足に企業活動の原点を置き、高品質、オリジナル商品およびサービスの提供を目指す
- (2) トラブル時の対応
製品の不具合や事故に対して、顧客の安全、健康を第一とし、そのトラブルを最小限にとどめるよう努力する。

【仕入れ先】

- (1) 八尾金網で日頃念頭に置いている購入方針に基づいてサプライヤーの方から公平、公正に製品、部品を調達する。
- (2) 原料、資材の品質確保のために、日常、サプライヤーとの間で品質に関する打ち合わせを行うよう心掛ける。

【株主・投資家】

- (1) 健全、透明な企業経営を通じて安定した収益を上げ、株主に適切な利益を還元する。そのために、明確な経営方針、計画の下に事業活動を行う。
- (2) 経営や事業活動に関する情報は株主、投資家に開示し、そこから得られる意見を経営に反映させる。

【従業員】

- (1) 従業員が生き活きと働き、能力を伸ばしていける環境づくりに努める。

- (2) 公正、公平な雇用を行う。
- (3) 従業員が、出産、育児、介護などと仕事を両立させ、生き活きと会社生活、社会生活を送れるよう積極的に支援する。
- (4) 従業員との対話を行うことにより、適切な評価、配属、処遇に努める。
- (5) 安全体制や健康管理体制の構築、多様なライフスタイルの支援を通して、働きやすい職場づくりに努める。

6. 製品安全・品質保証

八尾金網は ISO9001 の要求事項に従って、品質マネジメントシステムを構築し、実施し、維持する。また、この品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。

【品質方針】

- (1) 八尾金網の目的は、高品質の製品を顧客に提供することにより、顧客のニーズと要求に応えることである。
- (2) 八尾金網全社員は品質マネジメントシステムの原則に従い、製品の品質向上と改善を継続的に行う。
- (3) 八尾金網各社員は、業務目標を明確にし、技術の向上と伝承に最善を尽くし、この目標を達成する。

【運営体制】

品質マニュアルに記す

7. 人権・労働

人権・労働に関して、就業規則などでその対応を明確にするとともに、定例社内会議や従業員との対話の中で種々の下記課題に取り組む。

【人権保護・差別】

- (1) 社員すべての人格・人権・個性の尊重
 - * 国籍・人種・性別等による不当な差別は行わない
 - * 各人の多様な価値観を尊重する
- (2) 社員の各種業務での挑戦、革新への積極的支援
 - * 公平な機会の提供と公正で透明性のある評価（評価）
 - * 評価に基づく社員の成長支援（育成）
 - * 社員の能力を最大限に発揮するための職場配置と活躍への報酬（活用、処遇）
- (3) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の防止

【労働基準、採用基準、結社の自由】

- (1) 労働基準法に基づいた労働基準の遵守（強制労働、不当労働の禁止）
- (2) 国籍・出身地・人種差別や性別差別などによる不適切な採用を行わない（採用基準の明確化）

- (3) 各種組織への参加の自由（結社の自由）
- (4) 15歳以下の児童の採用禁止（児童労働の禁止）
- (5) 適切な賃金規定の明確化
- (6) 労働環境、労働条件改善への取り組み

【社内体制】

- (1) 定例会議における人権・労働問題の従業員への周知と啓蒙
- (2) 就業規則における労働条件、賃金規定の明確化

【客先・取引先に対する CSR 問題の取り組み】

- (1) CSR 活動に対する周知と啓蒙
- (2) 各社の取り組み状況の調査

8. 情報セキュリティ・知財管理

8.1 情報セキュリティ

【活動方針】

㈱八尾金網製作所は自社及びパートナー会社との適正な情報セキュリティを推進し情報資産を正しく取り扱う。また管理する環境条件の向上により、企業の社会的責任を果たし安定した企業継続とパートナー会社との相互繁栄を実現する。

- (1) 情報セキュリティを推進する。
- (2) 機密管理が必要な情報を明確にし、管理する。
- (3) 機密保持契約等情報漏洩を防止する対策を実施する。
- (4) 情報セキュリティ事故発生時の対応を迅速に実施し再発を防止する。
- (5) 継続的改善活動に向け情報セキュリティの PDCA サイクルを回す。

【組織】

推進責任者は社長がこれを兼る、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。

【管理・サプライヤーへの要請】

社内の文書管理、データ管理について定期的に社内の ISO マネージメントレビューの会議内において議題に掲げ実施する。

サプライヤーへの要請は確認書・契約書を受領することは困難と考え、営業担当責任者が文書にて当社の順守活動を行っていることを報告して順守要請の理解をいただく。

8-2 知的財産

1. 活動方針

㈱八尾金網製作所は知的財産活動を事業経営上不可欠な活動と位置付ける。事業展開に応じた権利取得を積極的に推進すると共に、他者からの権利侵害についても適切に対応する。

また新製品や新技術開発に於いても他者の権利に抵触することのない先行技術開発をおこなう。

2. 組織

推進責任者は社長がこれを兼る、また組織責任者が職場チームを代表し推進責任者を補佐する。 社内の ISO マネージメントレビューの会議内において定期的に議題に掲げ検討実施する。

3. サプライヤーへの知的財産尊重の要請

CSR ガイドラインを公開し営業が窓口になり、当社 CSR 知的財産尊重への理解と協力を頂く。

9. サプライチェーンでの推進

サプライヤー（材料調達先、委託加工先）に対しての「製品安全性、品質保証」の要請は購買担当部門が当社の取組をご説明し、理解と協力を頂くこととする。